

# 私たちは地域の「よろず相談所」でありたいと願っています。

平素は、当金庫に対しまして何かとお心寄せを賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、ご安心してお取引をいただくために、2020年度決算や経営内容の一端について「ミニディスクロージャー2021〔令和3年3月期〕』としてまとめさせていただきました。

お目通しいただき、《**たんよう**》のより一層のご理解と引き続きのご支援、ご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

## 2020年度の業績について

2020年度は、「人類始まって以来の大危機」と捉えた新型コロナウイルスの終息に向けた戦いに、「エッセンシャルワーカー」の一員として積極的に取り組みました。

具体的には、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から訪問による営業活動が制限される中、コロナウイルスの影響を受けておられる事業者や個人のお客様からのあらゆる悩みをお聞きするとともに、事業形態や生活様式の変化に対応するための資金繰り支援や本業支援に最優先で取り組みました。

その結果、預金・貸出金とも順調に業容の拡大が図れ、目標および前年度実績を上回る利益を確保することができました。

## 但陽信用金庫と地域の絆

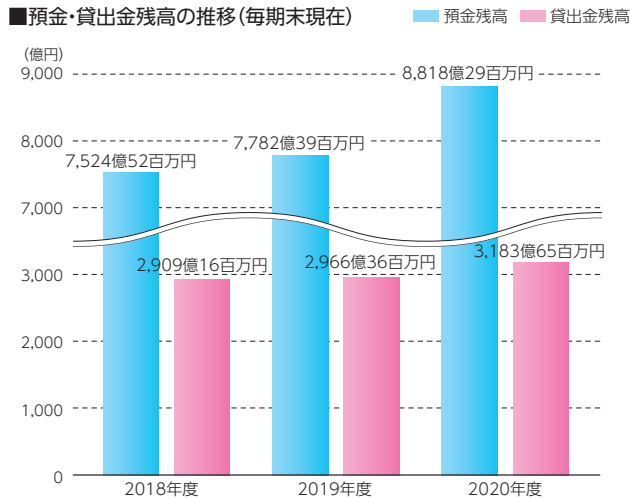
当金庫は、大正15年に但馬(朝来市生野町)にて創業。山陽地域にご縁を挙げ、昭和63年5月、東播磨の加古川市に本店を移転。南但馬を含めた兵庫県中南部を事業区域に、地域の中小企業者や住民による会員組織の金融機関として、相互扶助による「地域の発展」「豊かな暮らしの実現」を共通の理念としています。

地域のお客様からお預かりした大切な預金は、地域で資金を必要とされるお客様にご利用いただき、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地域の中小企業者や住民の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融サービス機能の提供にとどまらず、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標でもある「地域創生」への参画や文化・環境・福祉・教育・観光といった面も視野に、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。



## 預金・貸出金について



■ 預金については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から訪問活動自粛の期間を設けた一方で、このような時こそ「よろず相談所」を実践すべく、DMや電話を併用してあらゆる相談をお聞きする取り組みに努めました。

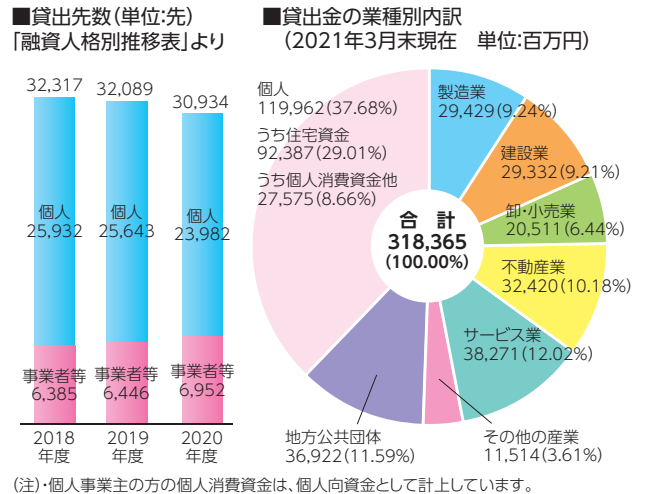
その結果、特別定額給付金や補助金の振込み、またコロナウイルス関連融資実行金の歩留まりから、期末残高は、8,818億円(前期比1,035億円、13.31%増)となり、科目別では、普通預金が976億円、人格別では、個人預金が778億円それぞれ増加しました。

## 損益について

■ 損益については、新型コロナウイルス感染症の影響で経済が低迷し日本銀行の金融緩和政策が継続する厳しい金融環境の中、低金利の支援に取り組んだコロナ関連融資実行により貸出金利息収入は前期比減少となりましたが、的確なリスク管理の下、リスクをとった有価証券運用に取り組み、資金利益は81億72百万円(前期比76百万円、0.94%増)となりました。**業務純益**は、債券売買益2億22百万円(同△1億73百万円、△43.69%減)を確保したことや人件費・物件費ともに削減が図れたことから、16億69百万円(同34百万円、2.08%増)、**実質業務純益**は、16億37百万円(同△20百万円、△1.22%減)となりました。また、**コア業務純益**は、14億14百万円(同1億52百万円、12.10%増)、**コア業務純益(投資信託解約損益を除く)**も、13億68百万円(同2億54百万円、22.89%増)となりました。

■ **経常利益**は、株式運用益を確保できたことや貸倒引当金や貸出金償却を抑えられたことから、前期を上回る14億61百万円(同42百万円、2.99%増)を確保することができました。

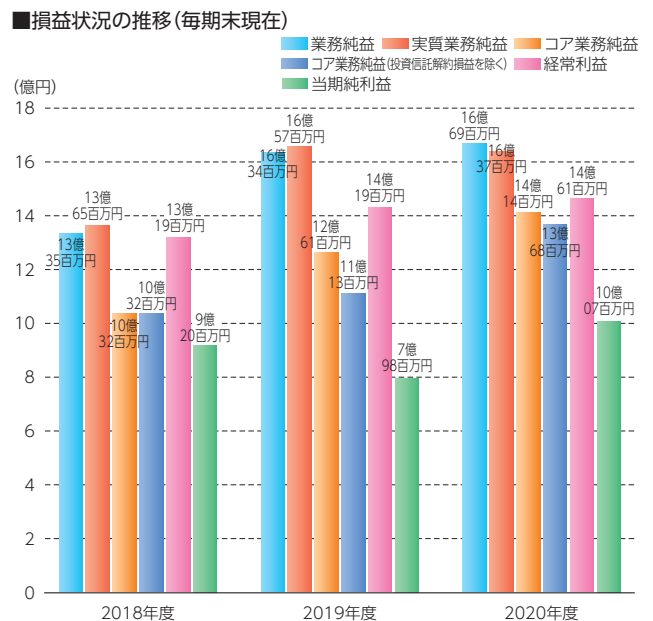
■ **当期純利益**は、固定資産の処分損等で特別損失31百万円を計上したものの、前期を上回る10億7百万円(同2億8百万円、26.06%増)を計上しました。



■ 貸出金については、新型コロナウイルスの影響を受けておられる事業所・個人のお客様への資金繰り支援を最優先に取り組みました。

また、お取引先事業者一先一先の状況を確認しながら、本業支援や経営改善支援に取り組みました。

その結果、期末残高は、3,183億円(前期比217億円、7.32%増)となり、事業性融資が243億円、地元地公体向け融資が5億円、それぞれ増加しましたが、訪問活動の自粛等により、個人向け融資は32億円減少しました。



### ワンポイントメモ

- ・**業務純益**: 業務純益=業務収益-(業務費用-金銭の信託運用見合費用)。貸倒引当金繰入額が全体として繰入超過の場合、一般貸倒引当金繰入額(または取崩額)を含みます。
- ・**実質業務純益**: 実質業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額。実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
- ・**コア業務純益**: コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益。国債等債券損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。
- ・**コア業務純益**: コア業務純益から投資信託解約損益(有価証券利息配当金に含まれるもの)を差し引いたものです。(投資信託解約損益を除く)
- ・**経常利益**: 経常利益=(業務収益+臨時収益)-(業務費用+臨時費用)
- ・**当期純利益**: 経常利益に特別利益・特別損失を加減し、法人税等を控除した最終利益